

岡本眸の冬の句

ガスの炎の力揃ひて冬に入る
冬若し一羽とて倦む鳥を見ず
白し疾し十一月は一紙片
容赦なき月日のひまの帰り花
流れねばならぬと流れ冬の水

松岡隆子 抽